

(報道資料)

2019年5月29日  
NHK広報局

## 国際放送番組における出演者の問題について

国際放送「NHKワールド JAPAN」で去年11月19日に放送したドキュメンタリー番組「Inside Lens」の出演者について、事実と異なる内容を伝えていたことがNHKの調査でわかりました。

この番組では家族や友人などのレンタルサービスを行う会社を、実際に利用客にサービスを提供する様子などを交えて紹介しました。しかし、サービスの利用客として番組で紹介した男女3人は、実際には客ではなく、レンタルサービス会社が用意したスタッフでした。会社の社長はNHKの調査に対して「スタッフに頼んで利用客を演じてもらった」と話しています。

「Inside Lens」は、国際放送局がNHKエンタープライズに制作を委託している番組で、アジアや日本で活躍する外部のドキュメンタリー監督やディレクターらが提案した企画の中から採択しています。今回、この番組を取材・制作した外部のディレクターや窓口となったNHKエンタープライズの担当者は、取材・制作の過程で出演者の問題に気付くことができませんでした。

制作体制にかかわらず、放送に関する責任はNHKにあります。事実と異なる内容を伝えたことについて視聴者の皆さまにお詫びいたします。今回の問題点を踏まえて、早急に再発防止を徹底いたします。

### 〔NHKコメント〕

番組の出演者について事実と異なる内容を伝えたことは極めて遺憾であり、視聴者の皆さまにお詫びいたします。委託番組についても、チェックの精度を高めるなど再発防止に努めてまいります。

以上